

20世紀ポスター展(戦後版)の公開について

鈴木 玲

研究所WEBサイトOISR.ORGは、12月10日にOISR.ORG20世紀ポスター展「法政大学大原社会問題研究所所蔵資料1400点で見る戦後日本の姿」を以下のURLアドレスで公開しました。

<http://oohara.mt.tama.hosei.ac.jp/posterb/index.html> または、

<http://oisr.org/posterb/index.html>

このサイトは、研究所所蔵の戦後ポスター、ステッカー類1400点のうち、労働組合・労働運動関係の約650点を「スライド・ショー」形式で展示しています。これらのポスター、ステッカーは、全国中央組織（ナショナルセンター）、地方組織、産業別組合・企業別組合、春闘、メーデーに分類され、さらに組織名、産業・業種、項目、年代別に分けられています。今回公開されなかった戦後ポスター（農民組合、政党、社会運動、文化運動、青年・婦人運動など）についても、近日中に公開する予定です。

展示されている650点には、戦後初期の労働運動に強い影響力を持った全日本産業別労働組合会議（産別会議）や日本電気産業労働組合（電産）のポスター、40年代末から50年代にかけて起こった大きな争議（1947年の2.1ゼネスト、1948年の東宝争議、1949年の東芝争議、1950年の日立争議など）のポスターが含まれています。また、国労、全通、炭労、鉄鋼労連関連のポスターも数多く展示しています。

戦後初期の政府や経営者への敵対心をストレートに表したポスター、高度成長期以降の賃上げなど経済要求スローガン中心のポスター、そして70年代後半以降の生活の質の向上を謳ったポスターなど、それぞれ時代を反映したさまざまなスローガンおよびデザインを鑑賞することができます。

以下では、展示されている戦後の労働運動ポスターをいくつか紹介します。



ストだけでなく祖国再建も訴えた2.1ゼネスト（1947年）のポスター（全官公庁労働組合共同斗争委員会）



政治風刺のポスター（1948年，全日本化学産業労働組合）



子供に運賃・物価値上げ反対を訴えさせるユニークなデザインのポスター（国鉄労働組合）